

■**本山彦一** 新聞経営者。{藤田組}支配人のまま、{毎日}経営に参画し、{朝日}に拮抗する資本主義的企業として確立した。
もとやまひこいち
ペリー来航・1853＝ 熊本藩士の長男に生まれる。

桜田門外変・1860＝ 7歳：

生麦事件・・・1862＝ **9歳**：

明治維新・・・1868＝15歳：

藩学(時習館)に学んだ後、

廃藩置県・・・1871＝**18歳**：上京し、箕作秋坪の三叉学舎で英学を習得する。

明治6年政変 1873＝20歳：

また、_福沢諭吉の門下となり大きな影響をうけ、

_ {近事評論}などに寄稿するなど言論活動に関心をよせていた。

琉球処分・・・1879＝26歳：兵庫県に出仕、勸業学務課長

・・・1880＝**27歳**：神戸師範学校長を務めたが、

明治14年政変1881＝28歳：_官界を去り、

新体詩抄・・・1882＝29歳：_ {大阪新報社}を経て、

岩倉具視没・1883＝30歳：_ {時事新報}に入社。総編集・会計局長をつとめる。

帝国大学始・1886＝33歳：***大阪の{藤田組}に招かれ支配人に就任、山陽鉄道、児島湾干拓事業に専念、**

ほぼ同時に、藤田伝三郎の媒酌でその兄の娘と結婚。

初の対等条約1888＝35歳：_ {大阪日報}が破綻した際、藤田ら大阪実業家有志が支援して再生した {大阪毎日新聞}で主筆不在となり、

帝国憲法発布1889＝**36歳**：***{藤田組}支配人のまま、{大阪毎日新聞}に迎えられて相談役に就任して、新聞経営に関係し始め、**

日清戦争始・1894＝41歳：

日清戦争終・1895＝42歳：_苦境に陥った {藤田組}の総支配人とされて難渋するも、次第に、その経営に専念することとなり、

八幡製鉄始・1897＝44歳：井上馨に抜擢されて、{郵便報知}の政治記者から外交官になっていた_原敬を迎えて、体制を整え、

子規句歌革新1898＝**45歳**：_ {藤田組}の児島湾干拓事業がようやく許可され、

Bushidou・・・1899＝46歳：着工となって目鼻もついたことから、

_新聞を“社会の木鐸”と見る風潮に抗して、新聞を商品であると公言(新聞商品論)、広告蒐集にも全力を注ぎ、積極的な拡大政策と合理的な経営管理によって新聞を資本主義的企業として確立、5千部だったものを20万部を超えるまでに伸ばした実績を認められて、

日比谷公園・1903＝50歳：***株主に推挙されて社長に就任。{大阪朝日}を追撃して経営の拡大に尽力し、**

_関西新聞界における朝日・毎日2社寡占体制を築き上げ、さらに、東京進出を計画し、

日露戦争終・1905＝52歳：

満鉄発足・・・1906＝53歳：_児島湾干拓の第1期が完成したのを機に {藤田組}を退社。{電報新聞}を買収し {毎日電報}と改称、

韓国反日暴動1907＝**54歳**：

大逆事件判決1911＝58歳：_ {東京日日新聞}を買収、これに {毎日電報}を合併して、東京・大阪の2大都市でそれぞれ {東日} {大毎}の2大新聞を発行する体制をつくる一方、{大阪毎日}1万号記念事業として {大毎慈善団}を設立、自ら理事長となつて、慈善事業にも邁進して行く。

明治天皇没・1912＝59歳：

_その後も朝日新聞社とは激しい営業競争を展開しながら、

民本主義・・・1916＝**63歳**：

原敬首相暗殺1921＝68歳：臨時国語調査会委員として、持論の漢字制限を提議。

水平社結成・1922＝69歳：_ {サンデー毎日}、

関東大震災・1923＝70歳：_ {エコノミスト}など、さまざまな媒体を発行するとともに、イベントを販売・広告に結合する経営戦術によって大きな成功をおさめ、<関東大震災>後は、

治安維持法・1925＝**72歳**：{東京日日新聞}は70万部を超え、

_経営の弱体化した東京系新聞社を朝日新聞社と提携して圧倒する戦略をとり、大規模な販売拡張によって、関東においても朝日・毎日寡占体制を形成し、全国紙の地歩を固めて、

海軍軍縮条約1930＝77歳：勅撰貴族院議員。_ {東京日日}が100万部達成、{大阪毎日}と合わせて {朝日新聞}と並ぶ全国二大紙となるとともに、日本新聞協会総裁に就任。

満州事変・・・1931＝78歳：

五一五事件・1932＝79歳：_軽い脳溢血で倒れ辞表提出するも重役らに拒まれて社長業を続けたが、再発して、没した。